

<玉ねぎクッキング>

毎年たくさん収穫できている玉ねぎですが量が多く、なかなか食べても食べても無くならずどうやって食べていこうか悩むことがあります。今年はゆりぐみが調理をしてくれて全クラスと先生に振舞ってくれたり、オニオンリングを作ってみみんなで食べたりしました。他にも給食の肉じゃがやハッシュドビーフの日に自分たちで調理をして食べたり、スライスして食べたりとたくさん玉ねぎを味わうことができ『おいしい』の表情がたくさん見られました。ゆりぐみは家庭に持って帰り、食べた様子をクッキングシートにして事務所前に貼るので見てみてください。



<感触遊びを大切に>

『多様な素材に豊かに触れられる』『自分の働きかけで素材が変化する』ことの楽しさを味わい、汚れることを気にしないで心をとく放って『皮膚感覚や運動感覚を総動員して思う存分遊ぶ』経験をしてほしいと願い、感触遊びをしています。私が読んだ本の中で感触遊びをすることの構造が人間関係を構築していく営みに通じるように思えてなりませんと書かれていました。どういうことかということ、もの（感触）と関わりながらその感触が心地よかったり、ちょっと苦手かもと感じたりする。様々な感触を受け入れ、それと付き合っていく（活動していく）。人との関わりも様々な感覚（感触）の人と日々付き合いながら生活をしています。感触遊びをしながら人間付き合いと同じことをして、感触が苦手な子どもも繰り返し一緒に遊んでいく中で感覚（感触）を受け入れ、折り合いをつけ、いい関係になる日が来るのです。乳児期から感触遊びを行い、たくさんの物に触れてきた子どもは刺激をたくさん受け好奇心旺盛になり、新しいことへ挑戦しようとする気持ちも育ちます。また、感触遊びが好きな子どもは偏食になりにくいとも言われています。感触遊びも含め、子どものいろいろな成長には遊びが中心にあるという大切さを改めて感じさせられました。感触遊びをすると洗濯物が多くなり保護者の方には申し訳ないですが『汚れは宝』と思っていただき、洗濯よろしくお願いします。

<絵本の貸し出し>

5月の園だよりに読み聞かせの事を掲載し、その後から帰る時間になると子どもたちの「絵本貸してください」という声が増え、嬉しく思います。ご家庭でお父さんやお母さんに絵本を読んでもらう事を喜び、素敵な時間になっていることと思います。引き続き、読み聞かせをしたいけど絵本が家にないよという方、事務所に声をかけてください。絵本をお貸します。



<お礼>

5月から6月にかけての保護者懇談ではお忙しい時間の中、ご参加いただきありがとうございました。短い時間ではありましたが担任と子どものいろいろな姿等を共有できました。今後も保育参観やクラス懇談、保護者懇談等で子どもの姿や様子をご家庭と共有、話ができる機会を作っていけたらと考えていますのでよろしくお願いいたします。